

週間感染症情報

2026年9週～10週 2026年2月23日より2026年3月8日まで

9週 10週

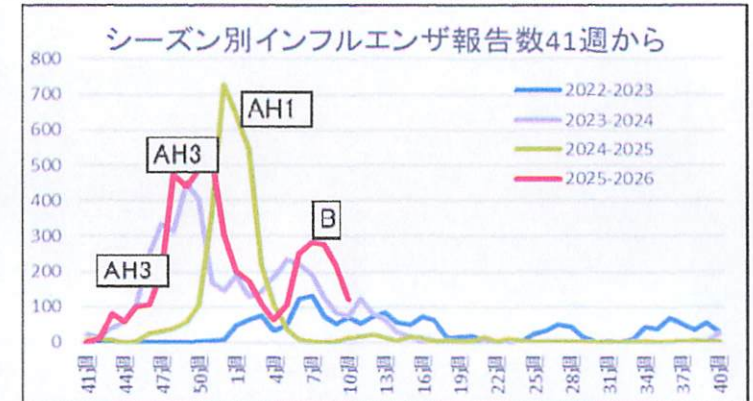
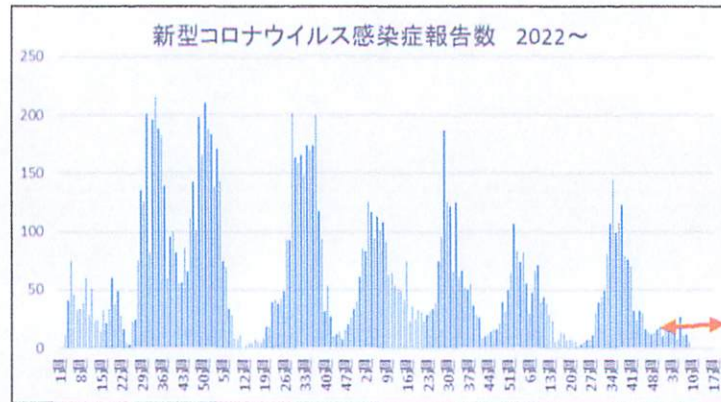
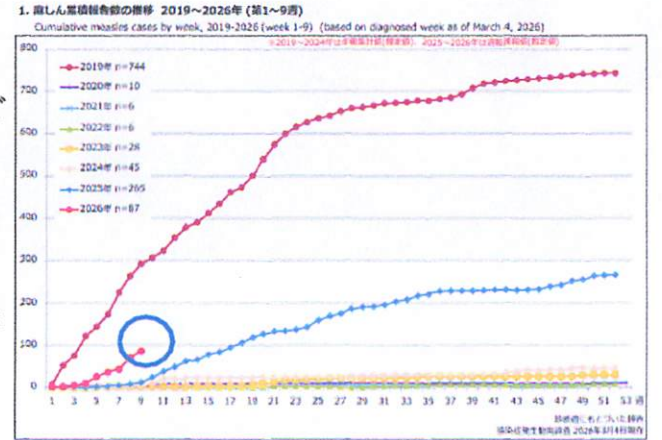
麻疹		
風疹		
水痘(みずぼうそう)		
ムンプス(おたふくかぜ)		
百日咳		
溶連菌感染症		6
手足口病	1	2
ヘルパンギーナ		
伝染性紅斑		
感染性胃腸炎	15	6
ノロウイルス(再掲)		
便アデノウイルス(再掲)		
突発性発疹		
伝染性膿痂疹(とびひ)		
ヘルペス性口内炎		3
アデノウイルス感染症		
RSウイルス感染症		2
マイコプラズマ感染症	1	3
ヒトメタニューモウイルス		
インフルエンザ	216	120
インフルエンザ A	1	2
インフルエンザ B	186	106
新型コロナウイルス感染症	5	3

遅くなりましたが、9～10週の2週間分の報告です。B型の流行は7週をピークに減少し、春休みに入り終息すると予想しています。溶連菌感染症、マイコプラズマ感染症の報告は続いています。感染性胃腸炎は、軽症例は受診しないこともあり多くありません。新型コロナの報告は少なく、冬のピークはありませんでした。高齢者がり患すると、重症化する例があり、早めに治療する必要があります。感染源不明の症例もあり、発熱時の鑑別に重要です。

右のグラフは麻疹の報告数の推移です。麻疹は空気感染するため感染力が強く特別な治療法はありません。高熱が1週間続き、肺炎など合併症を起こし、現在でも1000人に一人は亡くなります。2019年に744例の報告がありました。その後はコロナの流行で厳しい感染対策が実施されて著減しました。2025年には、海外よりの持ち込み例などで265例と著増しました。感染源不明の症例も報告されて、2026年はさらに増えています。麻疹はワクチンで予防できる病気です。

1歳と年長になったらすぐに、MRワクチンを接種しましょう。

熱がなくても咳をしている場合は、マスクの着用をお願いします。手洗い・換気に努めて下さい。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com>)